



放課後児童クラブで

認知症サポーター養成講座を開催しませんか

「認知症サポーター」は、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り対応する「応援者」です。

令和7年(2025年)には、高齢者の5人に1人が認知症になると推計されており、今後、日常生活の中で認知症の人と接する機会が増えると想定されています。国の「認知症施策推進大綱」では、認知症に関する理解の促進を図るため、人格形成の重要な時期である子どもや学生に対する養成講座の実施を求めています。

当市におきましても、小学生を対象にした認知症サポーター養成講座の開催機会を拡充させていきたいと考えておりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

○講座について

小学生向けの分かりやすい資料を使用し、専門の講師(キャラバン・メイト)が講座を実施します。

時間は概ね60分程度です。(オンライン開催については要相談)

内容

- ・認知症って何だろう？
- ・認知症の人や家族の気持ちを知ろう
- ・認知症になるとどうなるの？
- ・認知症サポーターって何？ など

○これまでに受講した子どもたちの感想



認知症のサインを出している人がいたら、なるべく優しく関わりたい。

できないことに対して怒るのではなく、協力して力になりたい。



【講座の申込み方法】

裏面の申込書にご記入の上、お申込みください。

依頼する側の費用は無料です。

講師調整のため、開催3週間前までにお申し込みをお願いします。